



聖なる子宮の園で

まなびや

成年
コミック

Yuiga Naoha

由雅なおは

目次

聖なる学舎の園で ～肉棒調教されるお嬢様～ 第0話 3
(描き下ろし)

聖なる学舎の園で ～肉棒調教されるお嬢様～ 第1話 7
(コミックグレープ Vol.1掲載)

聖なる学舎の園で ～肉棒調教されるお嬢様～ 第2話 25
(コミックグレープ Vol.2掲載)

聖なる学舎の園で ～肉棒調教されるお嬢様～ 第3話 43
(コミックグレープ Vol.3掲載)

聖なる学舎の園で ～肉棒調教されるお嬢様～ 第4話 61
(コミックグレープ Vol.4掲載)

聖なる学舎の園で ～肉棒調教されるお嬢様～ 第5話 79
(コミックグレープ Vol.5掲載)

聖なる学舎の園で ～肉棒調教されるお嬢様～ 第6話 97
(コミックグレープ Vol.6掲載)

聖なる学舎の園で ～肉棒調教されるお嬢様～ 第7話 115
(コミックグレープ Vol.7掲載)

聖なる学舎の園で ～肉棒調教されるお嬢様～ 第8話 133
(コミックグレープ Vol.8掲載)

聖なる学舎の園で ～肉棒調教されるお嬢様～ 第9話 151
(コミックグレープ Vol.9掲載)

聖なる学舎の園で ～肉棒調教されるお嬢様～ 第10話 173
(コミックグレープ Vol.10掲載)

あとがき 197



聖なる^{まなびや}学舎の園で

Presented by Yuiga Naoha



まなびや 聖なる学舎の園で

～肉棒調教されるお嬢様～

第0話



いったい
どのような
味がするの
でしょうねえ

早く私の
調教部屋で
体をしゃぶり
尽くしたい…

余すところなく
隅々まで…!!



二人とも
ずいぶんと成長
しましたねえ

私好みの容姿…
そして
良い肉付き…



姉妹の味

あ…♡

あう…

どこが
どう違うのか
確かめながら…!!



そう…

体の外も…
中身のほう
もっ!!

うあ

あああつ

私の精子をナカで
かき混ぜてっ

あ

何度も
何度も
何度も

おおおッ





うう

ふううッ

じっくりと
調教しながらね...

うお...お
おおッ

◆ごっく◆

さあ

目を逸らせては
いけませんよ

これは
大人になるための
大切な儀式でも
あるのですから…

あ

いやああ

いや

ほら
女神像にもっと
見ていただかないと

血…が…っ

今まで立派に
純潔を守ってきた
証ですよ

わたし…

初めては
好きな人に…って…

なんと
汚らしいっ

はあッ

仮にも神に仕える
身でありながら
異性交遊を考えて
いるとは!!

私の学園の生徒
としての自覚が
足りないっ

んぷ

んうう

あ

あ

これから
色々つつ

ああああッ

体に教え
込まねば...

うおお





初めて...

なくしちゃった...

私...

お母...

お母...

ごめん...
なまじい...

お父...
お母...
お父...
お母...

お母...
お父...
お母...
お父...



ありがたや
ありがたや

へへ

後は自由にして
いいですよ

立派な生徒に
育て上げて
ください

...おつと

そろそろ入学式の
時間ですか

ふふ...

いい格好
ですね...

…さて
今年の新入生は
本当に楽しみです

待ちに待った
あの姉妹が入学して
くるのですから

まなびや
聖なる学園で

～肉棒調教されるお嬢様～

第1話

聖フリースシア学園

由緒正しい家柄の
令嬢や資産家の娘が
集まる名門校

だが
そんな学園にも
裏の顔があった

生徒番号
200番までは
こちらに…

ここがこれから
生活していただく
寮になります

あら
なかなかの
ものじゃない？

メイドは
いるのかしら？

少し離れた場所に
なりますが

あちらの
学生寮で生活して
いただきます

まあ
何かしら
あの貧相な
小屋は

まあまあ
失礼よ

ここは
貧民層の子も
分け隔てなく
受け入れている
学園なのですから

…行こう
お姉ちゃん

うん！
なかなか
いい所じゃない

残りの方々は
あちらにどうぞ

え…っ

子供の頃から
ずっと…

私や琴之…
母さんを見る目が
普通じゃない
気がして怖かった

おお 可愛い
お子さん達
ですねえ

成長が
楽しみです

だから私は本当は
この学園に入るのも
嫌だった

けど…

ごめんね
奏…琴之…

あなた達が
叔父さんの事
苦手なのは
わかってる
でも
あなた達にも
いい申し出だと思
うの

名実共に
立派な学校
だから
ね

そんな顔
しないで
お母さん

私達…
叔父さんの
学校に行くよ

以上…

素晴らしい
学園生活を…!!

私達はこれから
ここで過ごす
事になる

許可なしでは
外との連絡も取れない
この学園で—



あ…

あのっ!!

しゅ… しゅ…



私…
同じクラス
なんです

そうなんだ!

周りは何か
違う雰囲気の
人ばかりで…
あの…
そのっ



確か…
同じ寮でした
よね…?

よかつたら
話し相手に…
なんて

うん
よろしく!
これから
仲良くしようねっ

あ…
はい…っ!!

しゅ…



あら
いい所に…

まあ
本当



私…
奏っていうの

えっと…
私…
凜です

そ…
そんな…



私が行って
くるからっ



でも…っ
こんなのっ

私…
図書室の場所
知りたかったし…
先に
帰ってて



あなた達
下級棟の
新生でしょ？

足が疲れてるから
代わりに本を返して
きてくれないかしら

図書室って
遠いのよね



…何ですか
あなた達

上級生
だからって
自分の足でっ

あっ
奏ちゃん
ダメ…っ



あっ
凜ちゃん…



これは
お仕置が必要
ではないですか？

学園長

お…
お仕置きって…

まあ
仕方ないでしょう
決まりは
決まりです

では…君
この学園の
しきたりに従って

まず…服を脱いで
もらいましょうかね

ふむ…

先刻別の生徒に
行ったばかり
なのですがねえ

身の潔白を
証明するために…

…え？

あつ

や
やあ

おお
これは
いけない

男を誘う
いやらしい体だ

抵抗しない…
いや
できない
のか…

この生徒は
扱いやすそう
ですね

多少強引でも
構わないでしょう

あっ

あ

身の潔白など
とんでもなかった

んッ

んぐ

これは男を
惑わす悪魔の
体ではないか

神に仕える者として
許しておくわけには
いきません

ふふ

これから
しっかり
学園長が
悪魔を祓って
くださる

私は
出て行くと
しましょうか

学園長
存分にお楽しみ
ください

んぐ

んぷ

ふう

んっ!?

んぐ

これは実に
けしからん

神に仕える
私が…こんなっ

あ

ふああ

この…
性欲の悪魔
めっ!!

私の性器を
こんなにして
しまつて

なんと恐ろしい
悪魔だ…!!

ふッ!?

心配は
いりませんよ?

私がすぐに
祓つてあげます

えっ

ウ…ソッ

ダメ
待って

悪魔つて…
何…っ!?

あ!!



あ

お…う…
おおお

おおお

おおおお

ああ

あ!!

うわあああ

おお

お

お…う…!!



ふふ…この娘の体…
なかなか調教しがい
ありそうですね

しばらく
楽しむと
しましょうか

軍…ちゃん

いったい
どこに…

あの姉妹を
手に入れるまでの
繋ぎとして…ね

◆うづく◆



…なんという
事だ

んぐ
う

私の体の疼き
が
まったく治まらん

これはまだまだ
時間がかかりそう

今日は寮に
帰れないと思いなさい

まなびや 聖なる学園の園で

～肉神調教されるお嬢様～

第2話

昨日に続いて
今日も新しい
玩具が来るとは

本当に
学園長様々
じゃよ

んうっ…っ

んん…

ありがたや
ありがたや

ああ

あう

あ

おお…？

なんじゃ
この大量の
濃ゆい汁は…

※この作品はフィクションであり、実在の人物・団体・事件などとは一切関係ありません。
また、18歳未満の者の性行為を表現したものではありません。







…それは
きつとあの娘の
事じゃな…

…この娘の
知り合いか…
こりゃいかん

管理人さんなら
知ってるかなって
思っ…



…昨日
一緒に帰ろうって
言ったのに
いなくなっちゃって

今朝
部屋にも
戻ってなくて
心配で…



その娘なら
大丈夫じゃ

この学園には
優秀な校医が
いるからのう

しばらく
そっちに世話に
なるんじゃないのう



昨日
体調が優れずに
看護室に行った
生徒がいたが…

その娘が
…とか言った
かのう

そういえば
学園長から
聞かされておったわ

口を…
開くな…よ…っ!!

もっ…っ



元気になったら
また登校してくる
じやろう

…そう
ですか
ありがとうございます

かなで
奏…ちゃんっ

待って…
行かないで…っ



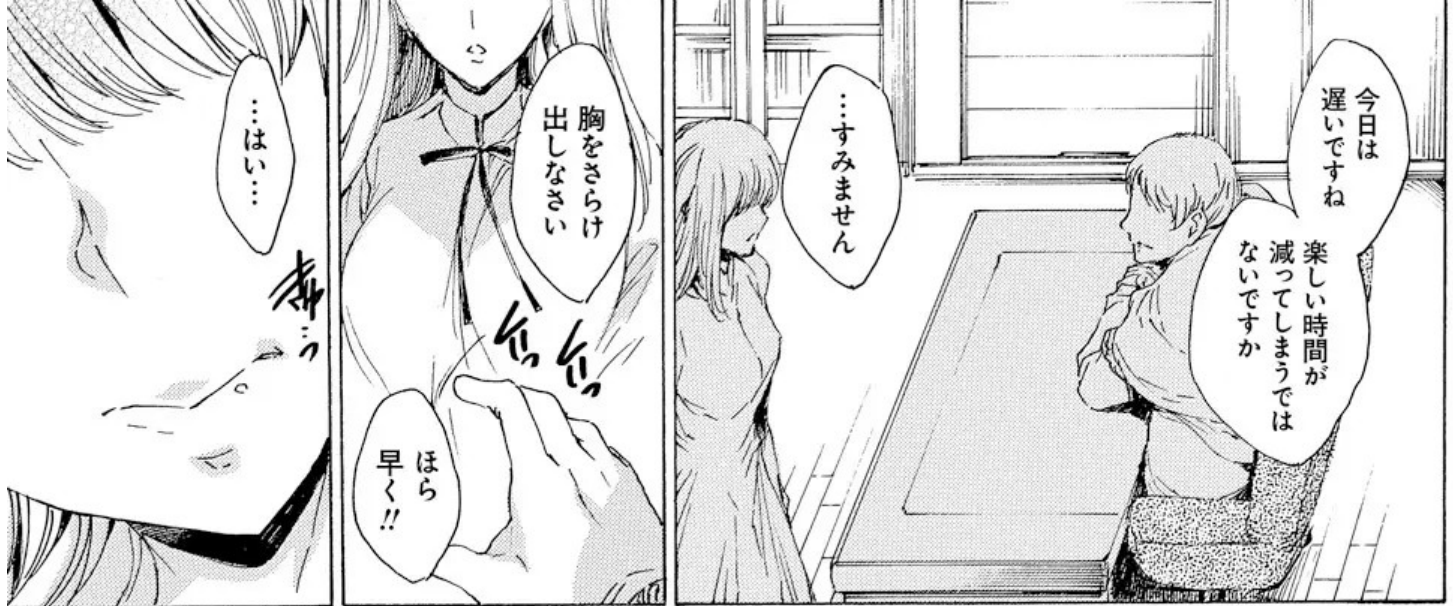




















まだまだっ

臍へしが足りませんかっ!!

はあ…あっ

あっ



申し訳…
ありません…

学園…長っ

あ

ふふ
まあ
いいでしょう

それが
本気の言葉なら

接吻を
しましょうか

あなたの一番
嫌いな…ね

…っ





あれほど
凛々しかった
生徒会長を…

ただの
性のはけ口として
何度も突いた
夜の事をね



……
おっと…

思い出したら
出てしまったでは
ありませんか

あ
これでは
満足できま
せんね



あうああ

もつともつと
色んな事を
体に教え込みたく
なる!!

本当に
あなたは…

何度も使える
調教玩具ですよ

あああ…♡



もつと腰を
振りなさい
私が満足するまで
終わりませんよ

あつ

返事を
しなさい!

は…

は…い

学園長の…
思うままに…っ

こんな夜分に
失礼いたします
学園長

構いませんよ
どうしたのですか？
かみな
上中君

お楽しみのところ
申し訳ございません

あ

あっ

はい
実は…
明日の品評会に
出品予定だった
商品なのですが…

まなひ
聖なる学園の園で
～肉棒調教されるお嬢様～

第3話

お…お

おおおっ

三人のうち一人が
使いものにならなく
なりまして

私の力量不足で
申し訳
ございません

あうあ

※この作品はフィクションであり、実在の人物団体事件などとは一切関係ありません。
また、18歳未満の者の性行為を表現したものではありません。







この学園に
多大な貢献を
していただいている
当然の見返りですよ

どうぞ
心ゆくまで
ご堪能ください

最高の
商品達です



おお…
これはこれは

美しいお嬢さん達だが
ずいぶんと華奢そうだ

それで体が
持ちますかな…?



そのために
存在する
私も
調教師です

そうでなければ
私達の存在する
意味が
ありませんよ



お前もさつさと
前に出んかつ

…これっ!!

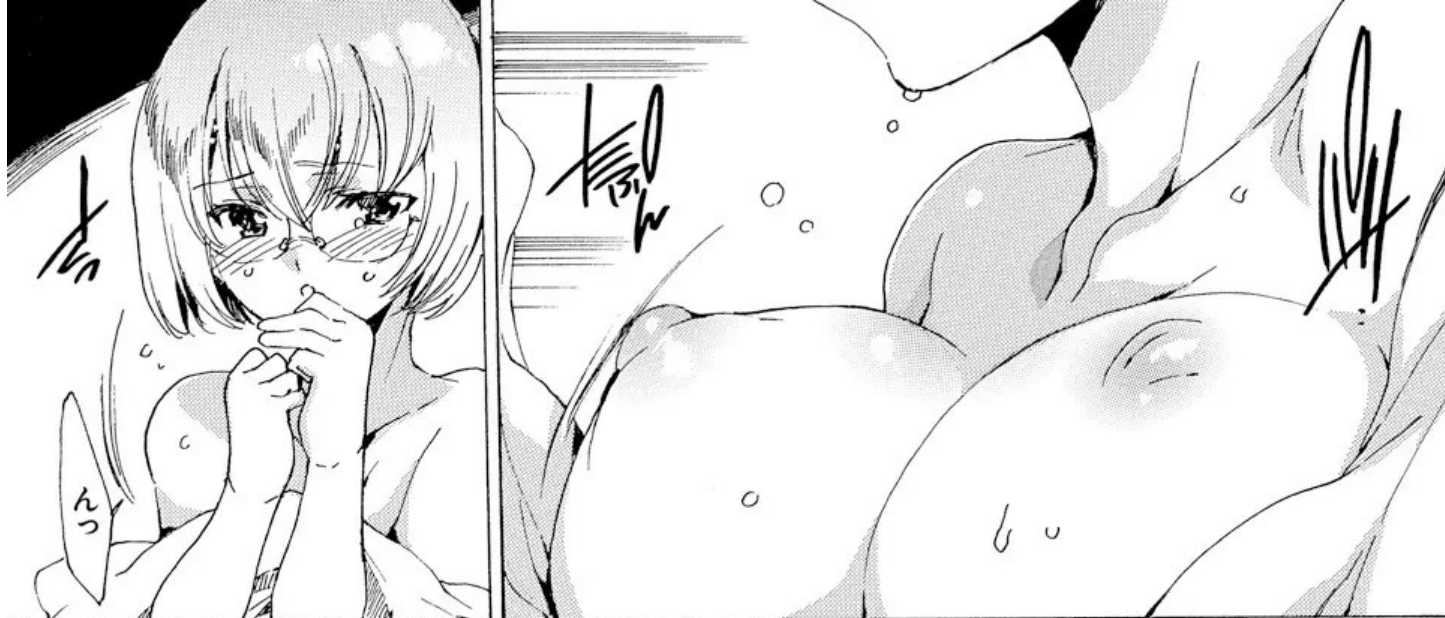
あっ



ご心配は
ありませんよ

皆様の
ご期待には
必ずお応え
いたします











二階堂様専用の
肉の穴ですよ

どうぞ
思うままに
お使いください

私の…
自由に…か

ようやく…

私のこれを
女の中で思う存分
動かせるのか!!

今日は
最高の日だっ

お

あ…っ

あ!!

あぐ

あ

あんなのが
本当に
入るの…!?

え…?



おご...

んあぐ...っ

うおお

あ



お

こんな...根元まで
初めてだっ

すばりっ

おお

ひゃああっ



私のモノが
肉で埋まる...っ

こんな...の
動いたら...

私...っ

あぐ...

あ









あうあ

二階堂…様っ♡

もっともっど…

突いて…っ♡♡

突いてっ♡♡♡







そして
その妹の
こと
音無 琴之

こちらも
なかなかだな



ふむ…

新入生の
おとなし
かなで
音無 奏

私好みの
いい顔だ



二人共に
すばらしい
逸材だ

たまには
姉妹一緒に…
というのも
一興ではないか？

なあ
学園長



おお

さすが
かたぎり
片桐様
お目が高い

本当に
厄介な
お人ですよ

何十人もの
生徒の中から
よりにもよって
その二人を…

※この作品はフィクションであり、実在の人物団体・事件などは切関係ありません。
また、18歳未満の者の性行為を表現したものではありません。



ん…?
どうかしたのか
学園長

ああ
いえいえ

実は今回
片桐様には
お薦めしたい商品が
あるのですよ



しかし…
あの姉妹は
私のもの
渡すわけには
いきませんね

ですが…さすがは
目の肥えたVIP
といったところ
でしょうか



つばしろ みゆき
鏑白 美雪

水泳の特待生として
入学してきた生徒です

かなり完成された
身体しておりますよ

ほう…

特待生か…



ほう…

あんたが
口を挟むのは
珍しいな

それほどまでに
いい商品があるのか?



ええ

まさに片桐様の
ご注文通りといった
ところでしょうか

この前の
商品よりも
さらに良いもの
ですよ

…片桐様が
どうしても
あの姉妹をと
いう事でしたら
これは別の方に

…待て
学園長

あんたが
そこまで
言うのなら
興味が湧いた

…よし
気に入った

その娘に
させてもらおう

商談成立…
ですな…!!

…当然
処女なのだろうな

ええ…!
もちろん
誰も手をつけて
おりませんよ

これで
一安心

しかしあの娘も
他に劣る生徒では
ありませんからね

何より勝ち気な
娘ですから

片桐様であっても
手こずると
思いますよ

ぜひ
お望みの
プレイを…!!

良い判断を
されましたね

きっと楽しめると
思いますよ



そんな事
ないです!!

私だったら
あと少し…

少しは休めよ
鰐白っ

焦っても
いい記録は
出ないぞ?

あのなあ…



…俺の話
聞きたくない
だけだろ

一流の
スポーツ選手
つてのはなあ

はあ…

あの性格だけは
なんとかならない
もんか

…わかりました
休んできます

…くそ…っ

あと少し…
タイムが
縮まらない…!!

まなびや
聖なる学園の園で

～肉棒調教されるお嬢様～

第4話

…あ…
先輩

あら
美雪

また先生に
説教されそうに
なったのかしら？

う…

ふふ
図星ね

美雪は
ちよつと頑張り
すぎるから…

でも…私
もっと上を
目指したいんです

…一年生なのに
あなたはここの
誰よりも速いのよ？

無理を
しすぎちゃ
ダメ

…気にする
事はないわ

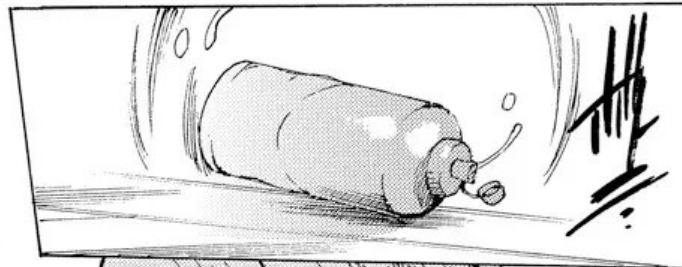
皆あなたの事が
心配で言ってるだけ

とりあえず
休んでおきなさい

…はい…

私だって
あなたの事
羨ましかったり
するのよ？

…あ
すみません…
失言でした…







いやあああ

いや

おっとまだ
騒ぐなよ

周りを見る
冷静になれ

んぐ

不利な状況にしか
ならないぞ…?

むぐ



ぐ…っ

う

…手が…
縛られてる

身体もろくに
動かない…

これじゃあ…っ

状況把握は
できたか?

…今お前は
犯されてるんだよ

少しの間…
黙っていて
もらおうか…

うう…

うう…



ん...っ

特待生との
凌辱プレイをつ!!

ん...っ

もがっ

ん...っ
おごっ

どうだ...?
自分の下着の
味は...

噛まれたら
厄介じゃ
済まないからな

たっぷり
楽しませて
もらうぞ



おお
これが
特待生の
胸か

うぐ

う



筋肉だらけかと
思ったが…
すばらしい
女の体だな

んん…



どれ…直接
味見といくか

うう…ううっ



うう…
うう…ううっ

…何か
言いたげだな

いいだろう



しゃべらせて
やる...

ぷは

…絶対
に
許さない…っ!!

あんたの人生…
もう…終わりよ

一生
刑務所行き
ねっ!!



外の皆に
見てもらうんだよ

きや…っ



ふ…は…

はははは

…何が
おかしいのよっ!!

はなせっ

何…する
つもりだっ!!



いや…?
何もわかって
ないんだと思って…
なっ!!

きや

ん…?
何って?

…こいつ
バカじゃ
ないの？

ここからなら…
誰かに…声が

センパイっ
助けて…っ

ここに
変な男がっ!!

…
センパイっ!!

お願い…!!
気づいて…っ!!

…センパイ
なん…で…

どうだ？
絶望したか？
ん…？

これは元々
仕組まれたた
事なんだよ

終わりののは
お前のほうだ

…え…!?





い...や

や...

んっ

んっ

あ

うああ

ああ...あつ

おおっ

おおお!!

つい...まりだつ

お前…の
肉ヒダがつ

最低な男の
肉棒につ

いやらしく
絡みついて
くるぞっ

おおお

この歳まで
守ってきた処女
だったのになあ

うあ

あ

見ず知らずの男に
破られてしまったなあ!!

うおおっ

ああ

あ

だが

こちらは
最高に気持ち
いいぞっ

最高の気分のお返しだ!!

初めてのナカ出しを味わわせてやる

良かったなあ
初めて尽くしだっ!!

あ

はうあああ

ダメ

おっ

そんなのダメっ

ダメえええっ

おおお

うおおおお

お

はああああ

うおおお

お







ねえ
知ってる？

下級棟の
あのウワサ

夜な夜な
女性の声がる
っていうアレ？

そうそう
それそれっ

あんなボロい
寮ですもの
ありえるかも



あ

あぁ



あっ

んあ

あああん



ウフフ
そんな事
言ったら
かわいいそうよ

あら
口が過ぎたかしら
ごめんなさい

あはは



※この作品はフィクションであり、実在の人物団体事件などとは切関係ありません。
また18歳未満の者の性行為を表現したものではありません。







あああ

は

あつ

はあ

んああん

おお

なかなか具合が
よくなつて
きてるの？

ふへへ...

やはり僕の
調教のウデは
確かなものじゃ

あとはお前の
カラダだけ...っ

あはああ

はあ

んう

んん

あ

あ



…にしても
やらしい音を
立ておって…っ

あっ

んあ

あ

僕のちんこが
勃起まくって
しまうわっ!!

この
ドスケベめっ

これで…終わりじゃと
思うなよ…っ!!

あん

こんなに股を開いて
ヨがる女子○生は

AVでも
そうは見んぞっ

ふああんっ





開発しまくって
やるっ!!

お...うっ

んぶ...

んはあああつ



おお

おおおっ



絶対
あの管理人
何か知ってる?



お姉ちゃん
待って...っ

やっぱりあの管理人
ウソついてたんだ!!

栗ちゃん
看護室にいなかった

早く行つて
問いたさないと...

もつと...
急がないと...!!

栗...ちゃん...っ

ふう...

さすがに種が
尽きてしまうわ

は

液が透けて
きたのう

はっ

ほれ

もつと
飲め飲め

美味いと
言わんか!

ふぐ

ふぐ...う

おい

お前達も
人ごとだと
思うなよ

ひっ

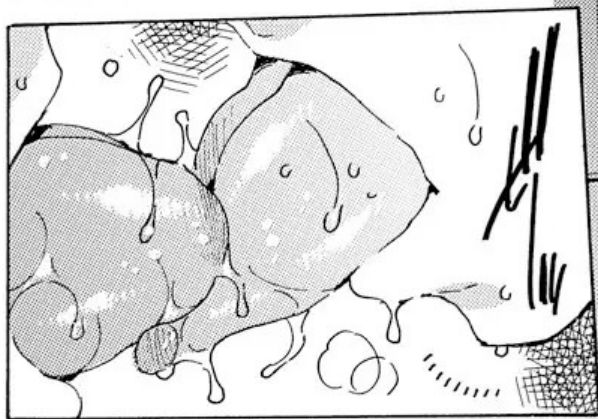


お前達も
無関係じゃないぞ
そもそも
あんな責めぐらいで
気絶しておって

あとでじっくり
お仕置きしてやる

ふッ

ふッ



んっ

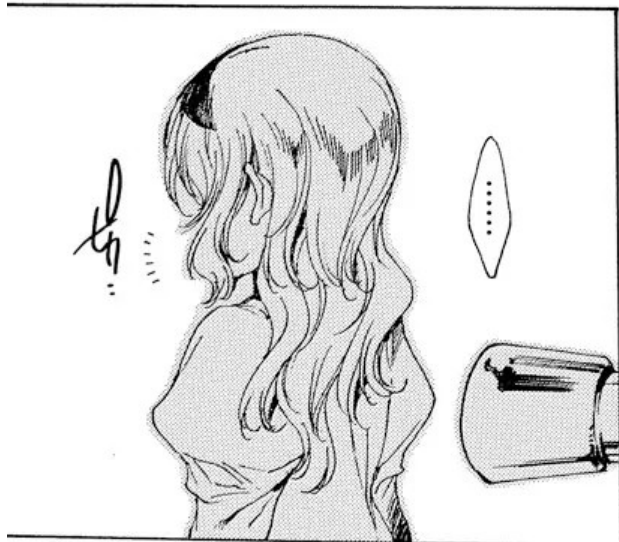
まだ僕はこいつに
色々教え込まんと
いかんからのう

んあ…
ん…っ



ん…?
なんじゃ
誰か
来たのか?

まあ
いいわい
僕は今こっちで
忙しいんじやつ





どうやらもう
行ったらしいのう

これで思いつきり
動けるわい!!



きや...あ

学園長への
恩返しにも
僕の楽しみにも
なる...!!



は

あ

やはり
調教はいい…!!



あつ

ああつ

は

あんつ

あ

一生…っ僕は
続ける…ぞっ

僕の…天職じゃっ!!

うおおお

お



うああああ

おおっ

おおおおお...っ





早々に手を打つと
しましようか

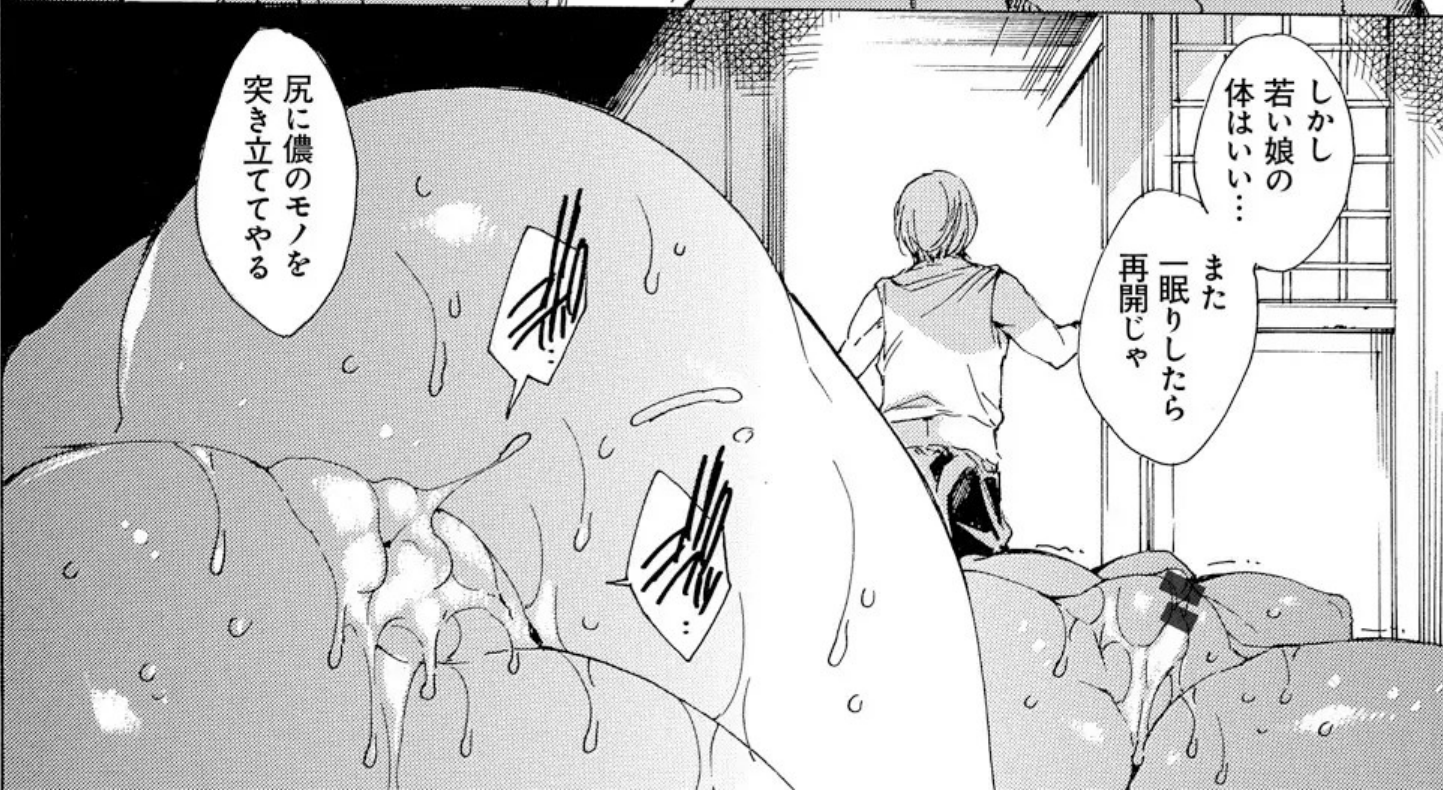
あの男の処分も
含めて…ね



ふう
さすがに
疲れたわい

少し
休憩じゃ…

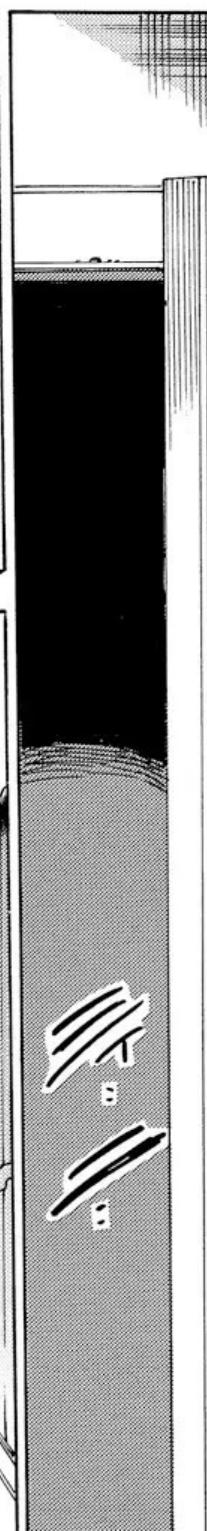
小便
小便…つと



しかし
若い娘の
体はいい…

また
一眠りしたら
再開じゃ

尻に儼のモノを
突き立ててやる











ついにこの時が
来ましたか!!

たつぷりと
趣向を凝らさねば!!



私のほうからも
学園長に聞いて
みるから

はい
ありがとうございます
先生…

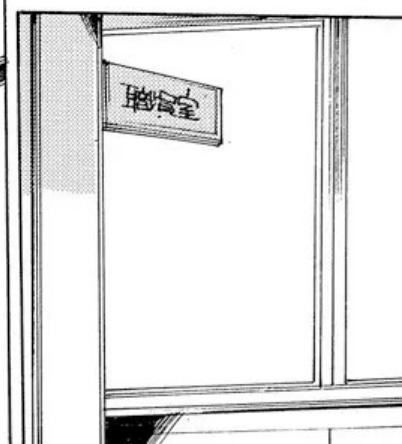


やっぱり…

…何度調べても
雪^{ゆき}さんは今
休養扱いに
なってるわ

本当に
どこにも
いなかった?

看護室にも
行ってみたのよね?



一年E組
おとなしかな
音無 奏さん

生徒会室まで
来てください

雲ちゃん…

本当に
どうに…

今の

生徒会長の声？

どうして
私が雲ちゃんを
探してるって…

職員伝いで
学園長の耳に
入ったのよ

あなたを
彼女の所に
案内してあげる
ようにって

特別看護室なんて
知らなかったでしょ？

すみません
早とちりで…

あの…
生徒会長





こっちは…
どっちな…？

う…

うう…

私…なんで
こんな所に…

お姉…ちゃん…

私の事が
見えてないの…？

お姉…

…？







んうッ

おお

ふッ

ん

お...

おおお

んんーッ





こんな事して
平気だと思ってるの？

あなたなんか
ここの学園長に
言いつければ…

おじさん
私は学園長に
顔が利くんだから!!



目の前の姉が
同じ目に遭っても
いいのか？

…!!



うう

あ

っ…



お姉…ちゃん…





ふああっ

あ

あ

卑怯者

私…
逆うえない…

いや…

あ

お姉ちゃん
ごめんね…

私…

あ



あ...

う...あ...

知らない男に
犯され...て...

ああああ

おっ

お





うあつ

い...や...

こんなの
ウソ...

ナ...カに
出てる...

まなびや
聖なる学園の園で

～肉棒調教されるお嬢様～

第7話

※この作品はフィクションであり、実在の人物・団体・事件などとは一切関係ありません。
また、18歳未満の者の性行為を表現したものではありません。









んぐ...

ぐ...う

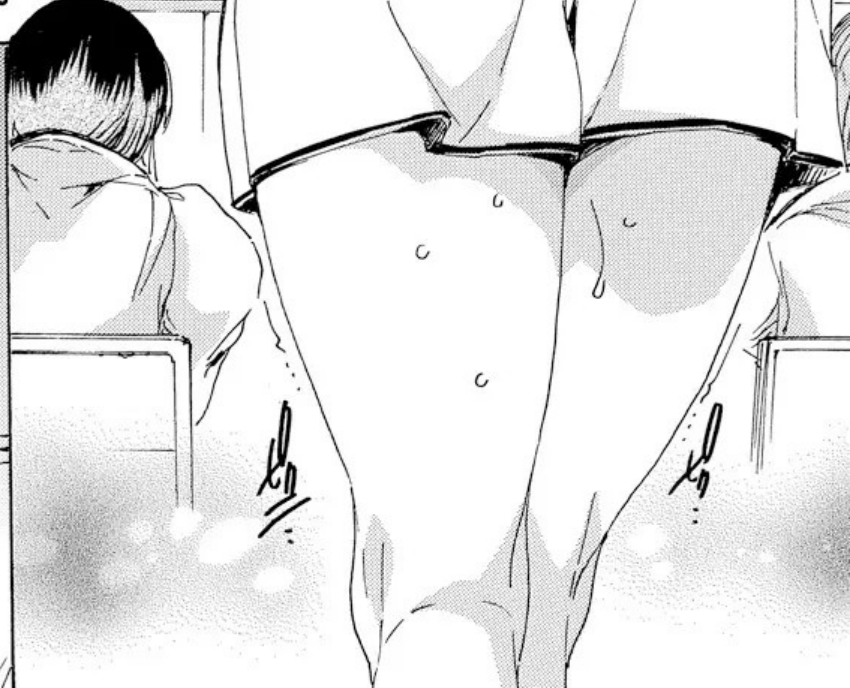
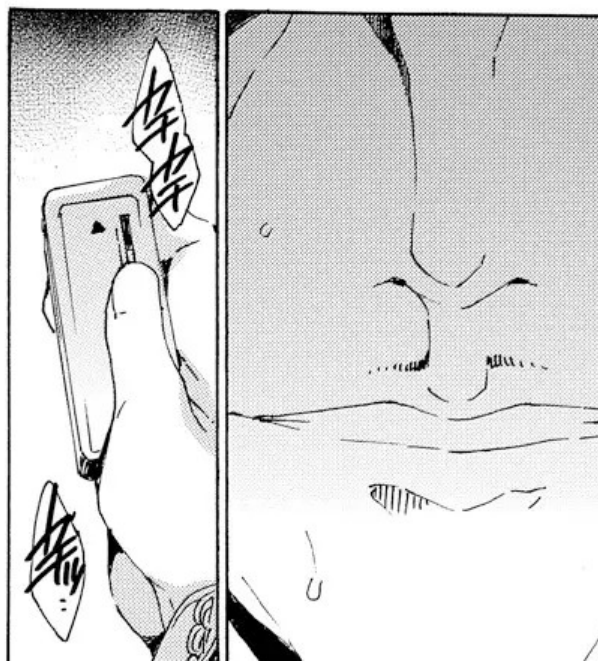
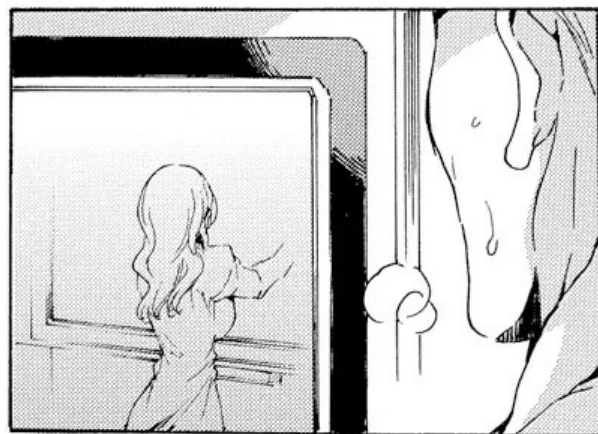
うッ

んぶうう

や...うッ











あの日なんじゃ
ないの？

先生
無理させて
サイアクー

す…
すみません…

大丈夫…
です



大丈夫じゃ
ないじやろう

誰か保健室に
付き添って
あげなさい

はい
なら
私が



今日の夜は
火照った体を
存分にいただと
しましょうか

射撃は後に
取っておきましょう



ふふ

しゅわ
どんどん熱く
なっているでしょう

体の底の
底から

実に
待ち遠しい

琴之

本当に
大丈夫？

今日は
一緒に
いようか？

お姉ちゃん
心配しすぎだよ

ちよつと休めば
平気だから

そう…

でも…
何かあったらすぐ
私に言うのよ

私…これでも
琴之のお姉ちゃん
なんだから

うん

ありがとう
お姉ちゃん

ごめんね…



言える
わけない



お姉ちゃんには
こんな目に遭って
欲しくないもの…

私…
一人…で…



はッ

あ
うッ

ふふ
よく一日
耐えたな

ご褒美の
時間だ

その濡れそぼった
女性器のナカまで
かき回してやろう

今夜…
たっぷりとな











ふあああッ

おお

おおお

声…
出ちゃっっ!!

あ…

また…
こんな…に…

い…や…

こんな…生活…
いつまで…

◆ じゅん ◆

……ッ





…いいのかね？

あ…

私の命令に
逆らっても…

ああ

君のご両親の
会社の株は誰が
握っているのか…

知らないわけでは
ありませんよね…？



今でも
はつきり
覚えてる…

あの時の
屈辱…

今のあの娘も
同じ思いを…

※この作品はフィクションであり、実在の人物団体事件などとは一切関係ありません。
また、18歳未満の者の性行為を表現したものではありません。







そう
言われても…

お姉ちゃん…

ごめんなさい
説明している
時間はないわ

とりあえず
これから今すぐ
出て欲しいの…



大事な
こと…？

あの…
何の事だか
さっぱり…



でも…

今は何の事か
わからないと
思うけど…



会長の言葉
信じて…



…わかった
事情は後で
詳しく教えて
もらうから…

今は
会長の言葉…
信じます…



お願い…

琴…之…



ありがとう...

あまり
時間はないわ

私の指示に
従って...!

ここを
出るわよ



二人共...

監視員の気は
私が引くから...

柵を越えたら
下の町まで走って...

そこまで行けば
電波...通じる
はずだから...

家族と一緒に
どこかに...

会長は
どうするん
ですか...?



私の事は
気にしないで

じゃあ
行くわよ

あの
会長...



今日はVIPの
品評会がある

学園の監視も
手薄なはず...



今まで私は…
学園の餌食になった
生徒を何人も何人も…

…お礼を言われる
事ではないわ

ありがとう
ございます

何度も私達を
助けてくれて…



学園長からの
言付けで…

だから…
お礼なんて
いいの…

あの…
少しお時間
いいですか？

これは…
今まで見て見ぬ
振りをしてきた
私の罪滅ぼし…



かなで
奏さん…
琴之さん…

無事に…
逃げてね…



...わかった

お姉ちゃん...
車道はダメ...
誰かに
見つかったら
連れ戻される

みんな

けど...
真実が
わかったら...
栗ちゃん...
生徒会長

この学園...
どんな秘密が
あるのかは
知らない

絶対に
戻って...

みんなを
すぐに
助けに戻って
くるから...

おやおや...
困った生徒も
いたものだ

ひひひ...







あつ
あああ

見ないで…
奏さん

あああ



おや
またイッた
ようですねえ

これで
八回目…と



会長…っ!?

あう

あ

あ

あの方が
来るまで
気を失わないで
くださいよ？

ああ

あ

本番は
それから
なのでから

ダメ…

こんなに
はしたない私を…
見ないで…っ!!

よそ見をしないで
くださいよ

あなたは
罰を受けている
自覚が足りない
ようだ

うあ

うああああ



や…め…
なさい…
こんな

何が
楽しいのです…

ん…?



ふむふむ
まだ余裕が
ありそうだ

もつと
スピードアップ…

いや
もう一本増やして
みますか



やめるわけが
ないでしょう

このように
美しい体…

命令がなければ
すぐにでも
私の性欲を
満たしたい
肢体ですよ…



この私でも
タガが外れて
しまいそうだ

うあ♡

は♡

あんちゅ♡



おやめなさい

やめて
…っ!!



い…や…っ
会長…っ

ぐ…

うッ

私達を
逃がそうと
したせいで…っ



もう
そのくらいで
いいでしょう

理性を
失ってしまったのは
面白くない

失礼しました
いつものくせで…

何…
あの男…



さて…と

んッ

よくも
私に逆らって
くれましたね

あんなに
可愛がってあげて
いましたのに

んぐ…

まだ調教が
足りなかった
ようですねぇ





あなた達も
しっかりと見るのです

んあ

あ

あっ

あの優美で可憐な
生徒会長の
堕ちて行く様をつ!!

あう

あ

これからは
今までとは
違いますよ!!

んぐ

愛を注ぐ事もなく
ただの性欲の
はけ口として毎日使って
あげましょう!!

毎日毎日っ!!

もご

うん

あ

生徒会長のままで
いられると
思わない事です

人格など
壊れてしま
いますからね

ああ

はふああ♡

報いがどういうものか
知りなさいっ!!

あ

あああん♡







※この作品はフィクションであり、実在の人物団体事件などとは一切関係ありません。
また、18歳未満の者の性行為を表現したものではありません。

大変に
美味でしたよ…!!

う…

あなたの
守ってきた
妹の体の味は!!

幼い顔立ちに
似合わず
豊かに育った胸…

ここ数日で
何度啜った事か…

い…や…
琴之っ!!

目を覚ましてっ!!

おい
静かにしろ









そう…
よく順序が
わかつているじゃ
ないですか

丁寧に
先を濡らして

うう…っ

こんなの…
知らない…
わよっ!!



んッ

んうッ

うッ

おお♡

いいですよ

もっと懸命に
しゃぶりなさい

ただ…

琴之が
助かるなら
…この…
くらいっ!!

お…おっ♡

ん…お









生活苦
借金苦…

私はあらゆる
苦しみをあいつに
与え続けた

なのに
家族の前であいつは
不幸な顔一つせず…

むしろ
幸せそうな
顔をして…!!

ただ苦しみ
もかく姿を
見たかった…

なのに
あいつは…

私の復讐の怒りは
行き場を失って…

だが…!!

お前の面影の残る
一美との愛の結晶を
私が汚す事で

私は
ようやく…っ!!

ふふ
怖いでしょう…

もっと
泣きわめいても
いいですよ?

…っ
誰…が…
このくらいでっ

そうですか
安心しました

なら…遠慮は
いりませんね…

はッ

あ

あ

あう

あ





ああああ

腹の中が
よじれる感覚
でしょう...?

すぐに快楽に
変わりますよ

はッ

まあ
私のほうは...

はッ



すでに
歓喜に打ち震えて
いますよ

あぐ

おおおっ

うお

おお

んあああつ

あ



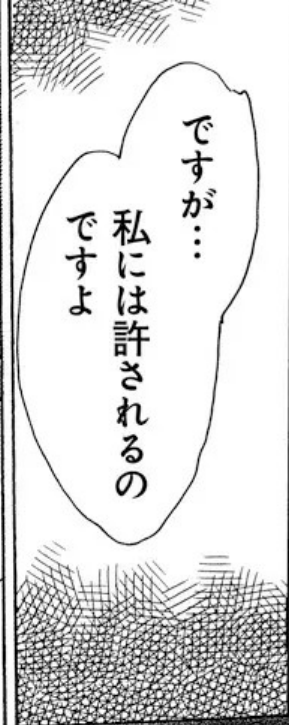


ま...さか...



この学園は
私のもの...

生徒達を
どうしようと
私の自由
なのですから



ですが...
私には許されるの
ですよ



本当に
鈍感ですねえ



その...
まさかですよ

今の今まで
私だと気づいて
いなかったのですか？

そん...な...

叔父さん...





あの女は
私の言いなり
だったのですよ

ああ

あなた達の
父親が亡くなって
すぐ

私がいただき
ましたからねえ

そもそも
私の女っ

あいつに
奪われたのが
いけなかったっ!!

私のものに
するまで
時間はかかり
ましたがっ

はあ

あ

今はこうして
君達二人を
堪能できている

全て私の
計算通りです!!

あう

…なら
なんで

ん…?

なんで…こんな
回りでい…

その場で…
私達二人とも
犯せはす

なぜ…?

そんなの
決まっている
でしょう?



肉は
熟成させれば
旨くなる…

ただ
それだけの
事ですよっ!!

ああつ

絶望をしつかり
練り込んでねっ!!



そんな…っ

あ

たった
それだけ…のっ

そうですよ

これから…
ですっ

これからが…
本当…の…

学園生活の…っ
はじまりですっ!!

あ

おおっ
おおっ

あ

ああああ…っ



その日から…
私達の学園生活は
全てが変わりました

私達は今まで
なんのために…

あん…っ

あ

ただ…この男に
犯されるために
生きてきたんじゃ…



これは…
たまりませんねえ

あん

あ

あッ

ああ
奏…さん

琴之…さん…

私達には
もう…

何も
残ってない…

ふあ

あ…あ

そして…

一年の月日が
過ぎて…

◆うへへ◆

※この作品はフィクションであり、実在の人物団体事件などは一切関係ありません。
また、18歳未満の者の性行為を表現したものではありません。

ようこそ！

新生生の
みなさん…！

最高の学び舎
聖フリージア
学園へ！

これから四年間
ここで学ぶ事 悩む事
色々あると思います

けれど
それらは全て
これからの人生の糧と
なってくれる
事でしょう！



学園長!





この話の
続きをなさい

行為がバレて
しまいますよ

わんわん

みな…さん

立派な…先生方の…
指…導でっ

おっ、おっ、おっ

清い…
学園生活…をっ

う…っ

あ…♡

おっ、おっ、おっ

おっ、おっ、おっ

まなびや
聖なる学園の園で

～肉棒調教されるお嬢様～

第10話





いい調教具合
でしたよ

VIPの方々も
さぞかしお喜びに
なるでしょう

はっ
ありがとう
ございます

ふう



ですが
よろしいので？
それは
学園長のお気に入り
だったのでは…

ああ…
もうよいですよ

もっといいものが
手に入りましたし
ねえ…

しかも今日は
待ちに待った
感動の再会です
調教された
家族同士のね

あ♡

あ…





毎日…毎日…
こんな…ことっ

いい…
気分なわけ
ないでしょう…



く…っ



実の母親…

あなた達を生んだ
彼女の前でね!!



もう調教を始めて
一年になるというのに
強情ですね…

まあ
それも
表面上…

…?



彼女の前で
本性をさらけ
出してもらい
ましようか



ごめんね…
母さんは…

おっと

親子の会話は
後でたっぷりと
させてあげますよ

…!!

お母さんっ!?

奏…
琴之…



ええ

娘達とたっぷり
楽しんだ後…でね

今しがた
楽しんできた
ばかりですが

やはり
あなた達を前にすると
血がたぎるようだ…







未来…
実にいい
言葉です

ええ…
そうですね？

それは…
あなたは
ここに入れないと
二人の未来はないと
言ったからっ!!

私は常にしつかりと
生徒達の未来を
考えていますからねえ



…!?

なん…
ですって…?

あなたの
どこが…っ



ここで調教された生徒は
VIPの下で
可愛がられる事になる

ある者は
愛人として
もしくは有能な
秘書として

貧しい家庭で
育った者達にとつて
願ってもない事では
ありませんか？

ふあ♡

気持ちいい
ですか…？

…そん…な…!

お…おっ

お

おお

…この二人は
例外ですがね

一生私の側に置いて
いい生活をさせて
あげましょう

ただ…ひたすら
性のはけ口としてね！

ん♡

もちろんあなたも
最終調整をして
あげますよ

あっ

おっと

姉妹で
私のモノの
取り合いですか

もご…♡

親子一緒にないと
かわいそう
ですからね！！

焦らずとも
よいですよ

時間はたっぷりと
あるのですからね

アッ…

あ…

あ…

この先
ずっとね！



脱がしなさい

いや...

あああつ

おお

なんという
事だ...



私の目の前に
あいつの嫁と
娘の肉体が...

なんという
背徳感だ!!

あ

やめ...て...



あいつを
失ってから

あ

女としての体は
男を欲して
いるのですよっ

あ

あううあっ

は

このような
豊満な肉体

あ

は
♡

ああん

私がこれからも
使ってやらねば
もったいないっ!!



あッ

そこ…は…

んあ ああ

んあ



お…お

届きましたよっ

あ♡

あはあ♡

お母…さん

あなた達が
いた所…

子宮の…
ナカに

んあ

おおおおッ

あ

お...お
これが...
母親の...肉体っ

んは♡

あ♡

そしてっ

んあ♡

これらが
その母から
生まれた肉体っ

きゃあああっ

母とはまた違った
感触で...っ

私のモノを
締め上げるっ!!

は

あ

あ



ああ♡

あああん♡

腰の動きが
止まりませんよっ!!

んあっ

おおっ

止まらないっ

二人…とも
ごめん…なさい

母さんは…

こんな…
こと…っ

ううん…
もう…いいの…

もう…



おお
なんと素晴らしい
親子愛なのでしょう

私はそれを
汚しているっ!!

あっ

あ♡

入って……

奥の……奥まで……っ

こんな事が
できるのは
この私だけだっ!

幸せな生活を
送るはずだった
清純な親子っ



何が入って
いるのですか?

言いなさいっ!!

お……

私……だけの
親と子っ!!

おちんちんっ

叔父……さんの



そう…

あなた達姉妹を
生まれた時から
知っている…

はあ

叔父さんの
モノだつ

あん

あ

力強いでしゅーっ!!



うああ

あ

毎日…
毎日っ



うああ

うあああ

出し入れして
あげますからねえっ!!



おおおおッ

ああああッ

おッ



すっごく綺麗な
生徒会長と
副会長！

一度会って
みたいなあ

私も
きつといつか
二人みたいに…

絶対に
なってみせるん
だからっ

◆おわり◆

おどろきのようなもの。

☆ GOT様からは1冊目になります。 聖なる学舎の園さん 手に取って頂いて
ありがとうございます！ 感謝です！

今回の舞台はお嬢様学園ということで、そんなタイプのお嬢様が
出て来て...といった感じで構想していたのですが、しかし生かしていただこうか
実は主人公(?)は学園長でしたか。。

裏話ですが、奏とエミリア会長の百合、なども考えてたりしました。

なかなか話数・P数の調整が
ムズかしいです。

出す機会
おはしゃぎした
けど。

これから新しい構想も！
書いていく予定なので
コミックグループ共々よろしく
お願いします。



聖なる学舎の園で

発行／2014年10月10日 初版発行

著者／由雅なおは

発行人／小岩学

印刷・製本／大日本印刷株式会社

編集／株式会社キリック

発行所／株式会社ジーオーティー

〒150-0013

東京都渋谷区恵比寿4-5-28-203

電話:03-5843-0034

©由雅なおは／ジーオーティー

ISBN978-4-86084-927-6

※本書掲載の全ての作品はフィクションであり、実在の人物・団体・事件などは一切関係ありません。

※本書の18歳未満の方の購入・閲覧を禁じます。

また、18歳未満の方への販売・陳列・貸与・譲渡・回覧を禁じます。

※日本の法律では同意があっても13歳未満の者と性行為をすれば強姦罪に問われ、

18歳未満の者と性行為をすれば都道府県の淫行処罰規定に該当します。

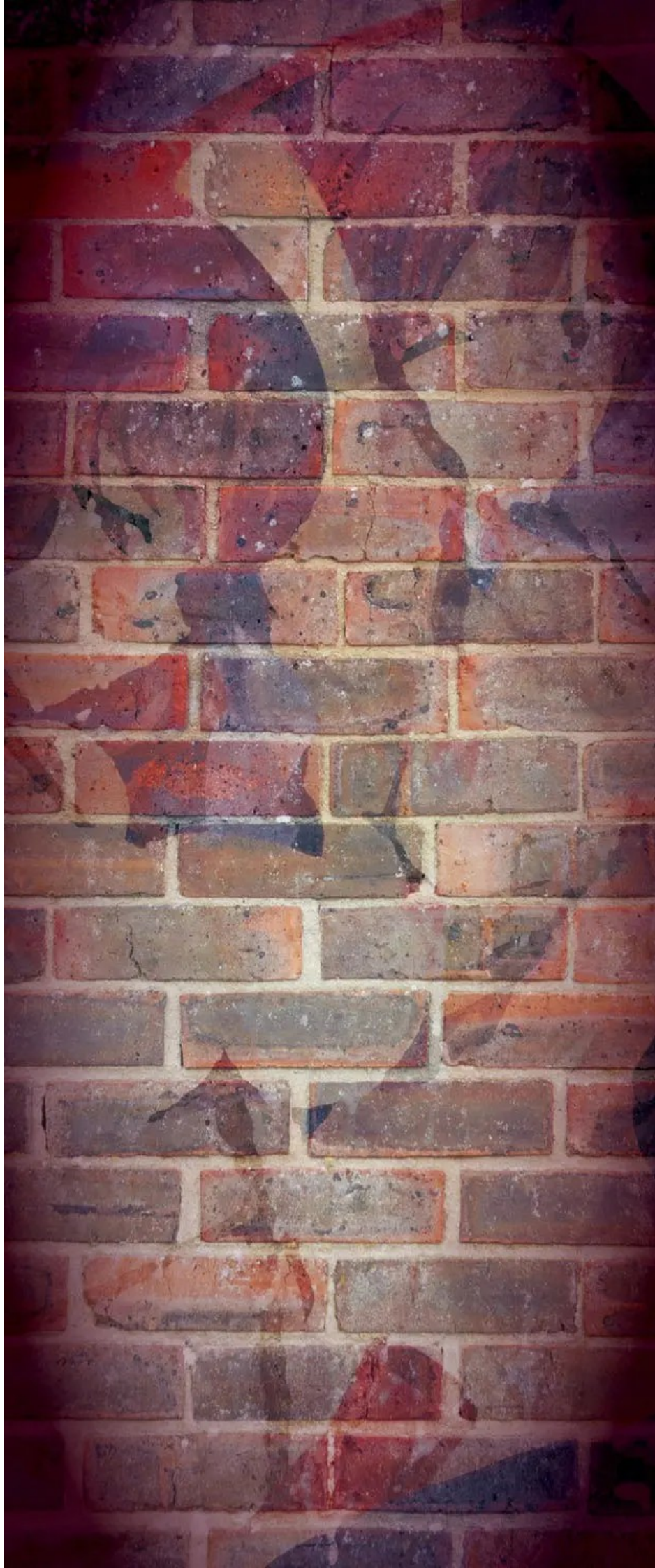
本書は犯罪を教唆するものではありません。また、18歳未満の者の性行為を表現したものではありません。

※無断複写・転写を禁じます。

※乱丁・落丁の場合はお取替え致しますので弊社までご連絡ください。

本書はDMM.R18で配信している電子コミックを書籍化したものです。







9784860849276



1920979010000

ISBN978-4-86084-927-6

C0979 ¥1000E

定価: 本体1000円 + 税
株式会社ジーオーティー

